

特別企画シンポジウム

「世界の廃棄物処理」

～プラスチックをめぐる環境問題～

平成30年

日時

11月27日(火)
13時00分～16時10分

場所

公立鳥取環境大学
大講義室(11講義室)

定員

300名

参加料

無料

中国が環境規制を強化し、2017年12月プラスチック廃棄物の輸入禁止に踏み切った影響で中国に輸出していたプラスチック廃棄物が行き場を失って、世界の各地であふれています。その上プラスチック廃棄物による海洋汚染が大きな問題として取りあげられています。ストローなど使い捨てのプラスチック製品を禁止する新ルールをEU加盟国は欧州議会に提示し、欧州委員会は2030年までに使い捨てプラスチック容器・包装の流通をゼロにする目標を掲げた「プラスチック戦略」を公表しました。日本でも、微細なプラスチック粒子の使用抑制を企業に求める「改正海岸漂着物処理推進法」が2018年6月に成立し、洗顔料や歯磨き粉などに含まれるプラ微粒子の製造と販売の自粛をメーカーに求める予定と報道されています。

プラスチックはその持っている特性から、いろいろな商品に使われ、それらが廃棄物になった場合の量の多さから使用抑制やリサイクルが求められています。そこで、本シンポジウムでは、化石燃料からプラスチック製品が生産され、その消費後にプラスチック廃棄物が発生し、リサイクルや焼却処理される実態を踏まえ、プラスチックをめぐる環境問題について皆様と議論する予定です。

■ プログラム

総司会：公立鳥取環境大学サステナビリティ研究所 所長 横山 伸也

第1部 特別講演

- 13:00～13:05 開会の挨拶
公立鳥取環境大学 学長 江崎 信芳
- 13:05～13:20 ミニ講義
「プラスチックをめぐる環境問題」
公立鳥取環境大学客員教授 田中 勝
- 13:20～14:20 (1)特別講演
「EUにおけるプラスチックを
めぐる環境問題とその解決策」
オランダ シンクタンク会社
Speaking Sustainably
代表 Bruce Haase 氏
- 14:20～14:30 (2)質疑応答



休憩

第2部

- 14:40～16:10 パネルディスカッション
「プラスチックをめぐる環境問題を考える」
＜話題提供＞
①「プラスチックリサイクルの基礎知識」
(一社)プラスチック循環利用協会
専務理事 井田 久雄 氏
- ②「プラスチック廃棄物の焼却に伴う
温室効果ガスの排出評価」
公立鳥取環境大学 准教授 金 相烈
- ③「プラスチック廃棄物への県内企業の取り組み」
公立鳥取環境大学 講師 門木 秀幸
- ④「EUのプラスチック戦略」

Bruce Haase 氏

コーディネーター：田中 勝(公立鳥取環境大学客員教授)

パネリスト：上記講師

主催：公立鳥取環境大学 後援：鳥取県・鳥取市・鳥取県東部広域行政管理組合

公立鳥取環境大学
Tottori University of Environmental Studies

〒689-1111 鳥取市若葉台北一丁目1番1号

【申込方法】 事前申込みが必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

【お問合せ先】 公立鳥取環境大学サステナビリティ研究所

<TEL>0857-32-9100 <FAX>0857-32-9101 <E-mail>kikaku@kankyo-u.ac.jp

<URL>http://mycms.kankyo-u.ac.jp/research/sri/news/2018nendo/20181029/

詳しくは
HPへ!

参加申込書

ご参加を希望される方は、メール・電話・FAXいずれかにて「公立鳥取環境大学サステナビリティ研究所」まで、お申し込みをお願いいたします。

公立鳥取環境大学 サステナビリティ研究所

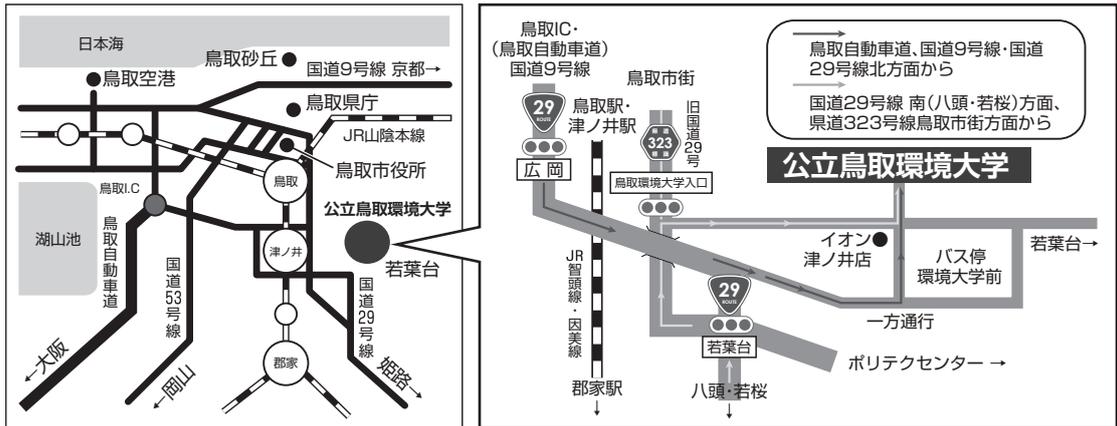
[TEL] 0857-32-9100
 [FAX] 0857-32-9101
 [E-mail] kikaku@kankyo-u.ac.jp

(担当)山本・大野

参加費 無料	定員 300名
-------------------	--------------------

**< 申込締切 >
 平成30年11月26日(月)**

フリガナ	
氏名 (代表者名)	
所属	
電話/FAX番号	
E-mail	
上記以外の参加者氏名	
氏名1	
氏名2	
氏名3	
氏名4	
氏名5	



(交通アクセス) ●鳥取駅からバスで約20分 ●鳥取空港から車で約30分 ●津ノ井駅から徒歩約20分